



市内の気になる話題をご紹介します。

6/19

## 益田清風高校生が 馬瀬地域の案内看板を制作

老朽化した馬瀬の案内看板が作り直されることとなったため、馬瀬地域のまちおこし活動を行う4人の「馬瀬ガール」が、案内図をデザインしました。いろいろなスポットに足を延ばしてもらうため、道順を描き込んだり、色合いを工夫したりして、約1カ月かけて制作。馬瀬らしい看板となりました。現在、道の駅美輝の里や水辺の館など3カ所に設置してあります。



自分たちでデザインした馬瀬地域の案内看板を紹介する馬瀬ガール＝馬瀬西村、道の駅美輝の里

6/27

## 新たな時と歴史を記念して ライオンズクラブが時計を寄贈

市内でさまざまな社会奉仕活動を行っている下呂ライオンズクラブが、創立100周年を記念して、下呂交流会館の玄関前駐車場内に、ソーラー式電波時計を寄贈しました。

下呂交流会館の田口館長は、「バスの利用者や、時計をあまり身に着けないスポーツ施設の利用者、外で休憩する人などのことを考えると大変ありがたい」と、感謝を述べました。



寄贈した時計の前で握手を交わす（左から）下呂ライオンズクラブ前会長の日下部譲さん、下呂交流会館長の田口守彦さん、下呂ライオンズクラブ会長の三島政人さん＝森、下呂交流会館

6/25

## 自分の思いを述べる 少年の主張下呂市大会

第12回下呂市青少年育成市民会議の中で催される「少年の主張下呂市大会」が行われました。

市内の各中学校から選出された6人の代表者が、自身の経験や日頃の生活から感じていることなどを発表。厳正な審査の結果、下呂中の佐藤樹依さんが最優秀賞、金山中の細江陽太さんが優秀賞となり、2人は市代表として、飛騨地区選考会へ推薦されました。（表紙記事）



笑顔でトロフィーや表彰盾を手にする発表者の6人（左から今井那菜さん、前田陽舞さん、佐藤樹依さん、千田琴音さん、大森ひなたさん、細江陽太さん）＝森、下呂市民会館

7/3-6

## 交流30周年を記念し国際 姉妹都市ケチカン市を訪問

下呂市と国際姉妹都市提携している米国アラソカ州ケチカン市との友好交流30周年を記念して、市長、教育長、市議会議員、金山町国際交流協会員ら10人の派遣団がケチカン市を訪問しました。現地では、ケチカン市長との面談や米国独立記念日に行われたイベントに参加し、下呂市をピーアール。感謝と敬意を伝え、両市の交流をさらに深めました。



米国独立記念パレードに参加して、下呂市との友好交流30周年をケチカン市民へ宣伝する派遣団＝米国アラソカ州ケチカン市、フロント・ストリート